

平成23年行政事業レビューシート

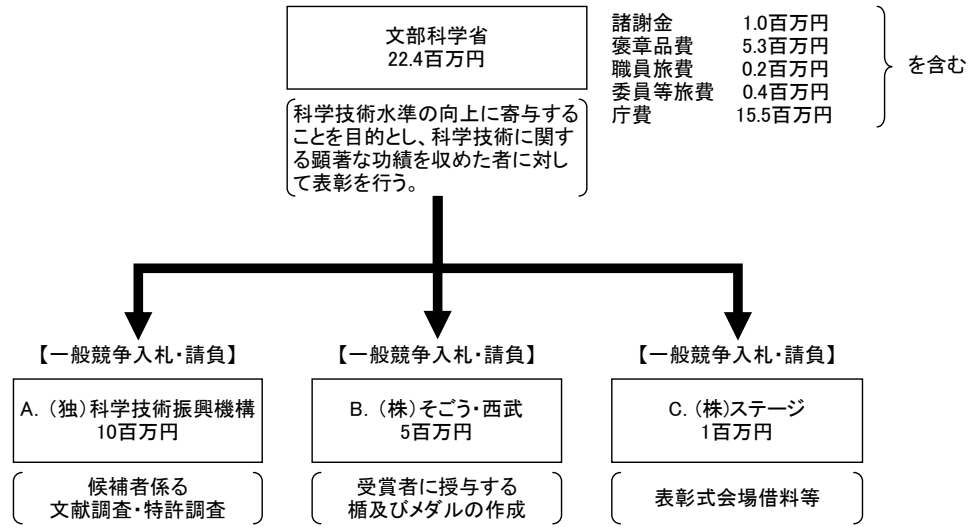
(文部科学省)

事業名		科学技術分野の文部科学大臣表彰		担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		昭和34年度～		担当課室	振興企画課奨励室	奨励室長 新保敏夫			
会計区分		一般会計		施策名	Ⅶ-1 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		科学技術分野の文部科学大臣表彰についての審査・選考を行い、表彰を行う。 ・科学技術特別賞 ・科学技術賞(開発部門、研究部門、科学技術振興部門、技術部門、理解増進部門) ・若手科学者賞・創意工夫功労者賞・創意工夫育成成功労学校賞							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	31.2	28.3	27.9	25.1	25.1	
			補正予算	0.0	0.0	0.0	0.0		
			繰越し等	0.0	0.0	0.0	0.0		
			計	31.2	28.3	27.9	25.1	25.1	
		執行額	25.7	21.9	22.4				
執行率(%)	82.4%	77.4%	80.3%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
		功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の科学技術水準の向上を目的としているため、定量的な目標を上げるのは困難である。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		科学技術特別賞		活動実績(当初見込み)	件	0	0	1 (0)	— (0)
		科学技術賞		活動実績(当初見込み)	件	118	113	112 (140)	— (140)
		若手科学者賞		活動実績(当初見込み)	人	81	85	85 (100)	— (100)
		創意工夫功労者賞		活動実績(当初見込み)	人	979	984	982 (1000)	— (1000)
		創意工夫育成成功労学校賞		活動実績(当初見込み)	校	20	11	11 (40)	— (40)
単位当たりコスト		18,700(円/件、人)		算出根拠	単位当たりコスト=22年度執行額:22百万/受賞件、者数:1,191				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	1.0百万円	1.0百万円						
	褒賞品費	6.3百万円	6.3百万円						
	職員旅費	0.3百万円	0.3百万円						
	委員等旅費	0.5百万円	0.5百万円						
	庁費	16.9百万円	16.9百万円						
	計	25.1百万円	25.1百万円						

※四捨五入により合計額と不一致。

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	外部有識者による審査委員会での結果により受賞者数の変動があるため、経費が左右され、予算額と執行額との差が生じている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>科学技術の最前線で活躍している研究者・技術者等を広く推薦できるよう、募集要項の改正を行った。</p> <p>①科学技術賞「開発部門」において、今後実績が期待できる画期的な研究開発成果 ②科学技術賞「研究部門」及び若手科学者賞については、日本国籍を有し海外を拠点に研究活動を行っている者</p> <p>研究分野が多岐に渡り専門性が高いため、分野のバランス等を考慮し増員等を行い、さらなる審査委員会の審査体制の充実に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、科学技術分野の文部科学大臣表彰についての審査・選考並びに表彰を行う長期継続事業であり、毎年度の予算の執行率も低くなっている。</p> <p>2. 所見：この事業は、20年以上続く長期継続事業であるが、伝統ある大臣表彰制度として必要性が認められる。平成21年度レビューの指摘を踏まえ、23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き、事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業の重点化、コスト縮減等に努めるべきである。</p>		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
<p>本事業については、24年度表彰より海外を拠点に研究活動を行う日本人研究者を候補者対象とする募集要項の見直し、改正を行った。また、予算については23年度予算要求の際に平成21年度レビューの指摘を踏まえ褒賞品費の縮減を行ったが、更なるコスト縮減を図り一部の褒賞品費の単価を見直し、▲0.2百万を削減した。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



※100万円未満の契約については、記載を省略。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(独)科学技術振興機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	文献調査及び特許調査	10			
計		10	計		0
B.(株)そごう・西武			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	受賞者に授与する楯及びメダルの作成	5			
計		5	計		0
C.(株)ステージ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	表彰会場借用料等	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)科学技術振興機構	文献調査及び特許調査	10	2	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)そごう・西武	受賞者に授与する楯及びメダルの作成	5	2	83.70%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ステージ	表彰会場借用料等	1	3	—